

【協働によるまちづくりの推進】

守屋 咲芭（もりや さきは） 三郷中

私は、三郷中学校二年、守屋咲芭です。

協働によるまちづくりの推進グループでは、人権男女共同参画、地域づくり等について学習をしました。そこで、各議員から質問をさせていただきます。

私は、人権男女共同参画についてお尋ねいたします。

私は、男性、女性の不平等感がなく、心が通い合えるような安曇野市を理想としています。しかし、自分が思う課題は、女性は男性に、男性は女性に、直接言いにくいような不満をもっていることだと考えます。

その課題がなぜ起きているのかというと、女性は男性に、男性は女性に、思っていることを伝えられる場が少ないからではないかと思います。

そこで、私は女性が男性に持っている不満と、男性が女性に持っている不満を知ることができる場を増やした方がよいと考えました。

そこで、市にお願いしたいことは、例えば市役所や支所等に不満を書いて入れてもらうポストを設置し、それを集めた後、一番多かったり、解決しなければならなかったりするものを発表する場を設けてもらいたいと考えています。

そうすることで、男女の不満が今までよりも少なくなり、もっと心が通い合える安曇野市になるのではないのでしょうか。

以上で私からの質問を終わります。ありがとうございました。

(※答弁後のコメント)

【ご担当部】 総務部 人権男女参画課

【協働によるまちづくりの推進】

関 怜奈（せき れいな） 明科中

私は、明科中学校二年、関怜奈です。

私は、安曇野市の市議会議員のことについてお尋ねいたします。

私は、市議会でたくさんの意見が出て、いろいろな人からの要望に答えてもらいたいです。

しかし、私が思う市議会の課題は、市議会議員の方々の年齢が偏っていたり、女性がすくなかったりすることです。そのことにより、若い年齢の人達や女性の方からの意見が反映されにくい状態になっているのではないかと思います。

そこで私は、市議会議員を決める際に年齢や性別で定員をつくるという方法を考えました。

どのようにするかというと、選挙で議員22人を決める際、「30歳から50歳まで何人」や「女性は何人」と定員をつくります。この定員は、候補者の年齢に割合や、男女の比率、全体の人数で決めます。

しかし、若い候補者、女性の候補者がなかなか出ないのではないかという課題も考えられます。この問題点は、たくさんの人たちに政治に興味を持ってもらえるように、学校などで政治について学ぶ機会を増やし、「将来、議員になりたい。」という人達を増やすことで解決すると思います。

地区で人が出ないという問題もありますが、このように、私たち市民が市政のことについての関心をもつ機会を増やせば解決するのではないのでしょうか。

このような取組をすれば、様々な意見が反映されやすくなり、安曇野市に住む人々誰もが、今までより更に暮らしやすくなると思っています。

以上で私からの質問を終わります。ありがとうございました。

(※答弁後のコメント)

【ご担当部】議会事務局

教育部長 学校教育課

【協働によるまちづくりの推進】

西尾耕太（にしお こうた） 豊科南中

私は、豊科南中学校の西尾耕太です。

安曇野市と、外国の方たちとの交流についてお尋ねいたします。

私は、外国の方たちと気軽に交流ができて、その中で外国の文化を取り入れ、より国際化、グローバル化していく安曇野市を理想としています。

しかし、私が思う課題は、安曇野市の将来を担う小中学校の教育で、様々な外国の方と触れ合い文化を知る場が少ないということです。

その原因の一つには、外国の方の多くが労働者だということもあると思います。

そこで私は、もっと外国の方々と交流するため、小中学校で行われる講演会のひとつとして、外国の方々に映像などわかりやすい機器を使って、文化を紹介してもらおうという方法を考えました。

その実現のため「市」にお願いしたいことは、外国人労働者が仕事を休んでも講演会を行うのに見合う報酬の予算付けをしてもらうことと、通訳や映像などを作成するスタッフを用意してもらおうということです。

そうすることで、少しでもグローバル化、国際化が進み、外国の文化を取り入れた安曇野市になっていくと思います。

以上で私からの質問を終わります。ありがとうございました。

(※答弁後のコメント)

【ご担当部】 教育部 学校教育課